

拓本で世界旅行気分

敷田さんに教わりながら拓本をとる参加者



松花堂美術館で令和3年度初夏展「旅する♡拓本」(7月1日～8月15日)が開催されており、拓本・表装家の敷田夏秋さんの作品46点が並び、来館者を楽しませていきます。会場には平等院の釣鐘の天女や、清水寺の石灯籠の



東大寺の灯籠などからとった拓本の作品が並ぶ会場

松花堂美術館で初夏展 8月15日まで

虎など日本のものから、キリマンジャロコーヒー豆やイギリスの騎士像など海を越えて採拓されたものなど、さまざまな作品が展示。着物の帯などで仕立てた表装に拓本が飾られ、来館者たちは興味深そうに一つ一つの作品に見入っていました。7月11日には拓本体験も開催。参加者19人は敷田さんに教わりながら、画仙紙をかぶせた古瓦を水で濡らして文様を浮かび上げ、綿を包んだ布で墨を押すなどして、上手に拓本をとっていました。参加した西本葵さん(11)は「書道をしているので、興味があって参加しました。細かいところの拓本をとるのが難しかったです」と話していました。

太鼓まつり 園児ら練り歩き

八幡の夏の風物詩「太鼓まつり」を地域の園児に体験してもらうため、7月13日、南ヶ丘保育園と南ヶ丘第二保育園の5歳児24人による合同の保育園太鼓まつりが行われました。

太鼓まつりは、石清水八幡宮の摂社・高良神社の宵祭で、町内ごとに担ぎ手たちが大きな屋形太鼓を担ぎ、太鼓を打ち鳴らしながら練り歩く姿が名物。地域の伝統行事を次の世代に知ってもらおうと、両園では例年、屋形太鼓を手作りして開催しています。

高良神社宵祭応援の住民ら笑顔

お揃いの法被を着た園児たちは、みんなの好きな食べ物や歌をテーマに作ったかわいらしい屋形太鼓を担いで、それぞれの園を出発。「ヨッサー、ヨッサー」と元気に掛け声をあげながら練り歩く様子に、応援に駆け付けた地域の人たちは笑顔でいっぱい。

両園の屋形太鼓が集結すると、ここぞとばかりに声を張り上げ、屋形太鼓を大きく揺らす園児たち。暑さにも負けず一生懸命な勇ましい姿に、周囲からは大きな拍手が起りました。



町内を練り歩く南ヶ丘保育園の園児たち

まちの話題

このページでは、市民の皆さんの活躍やまちの話題などを紹介しています。身近な話題や、広報紙についての意見を、秘書広報課までお寄せください。

ダンスの祭典 ジャンル多彩

7月18日、「第7回ダンスフェスティバル in YAWATA」が文化センター大ホールで開催され、7団体が出演しました。

同フェスティバルは、文化協会の主催で、市内で活動するダンスグループが日々の練習の成果を発表する場として行われています。

ステージでは、子どもから大人までさまざまな世代のグループが、多彩なジャンルのダンスを披露。先陣を切って登場したキ

文化センター 7団体が出演

ツズグループは、カッコいい振付のダンスを一生懸命踊り、会場を盛り上げました。また、立ち位置を入れ替えるながらダイナミックな振付を繰り出すヒップホップダンスや、舞踏会での恋模様をコミカルに表現したバレエなど、この日に向けて練習してきた演目が披露されるたび、観客からは惜しめない拍手が送られています。



バレエダンスを披露する出演者

今月のこの人 レスリング 高1で全国へ



由井廉太郎さん

8月21日(24日)に福井県で開催される令和3年度全国高等学校総合体育大会レスリング競技大会の男子個人対抗戦51kg級京都府代表。京都八幡高校1年生。

「1年生からインターハイに出場できる人はあまりいない。年上の選手たちに勝って出場を決められて、喜びの気持ちが大きかったです」と話す由井さん。

中学での38kg級から高校では51kg級に階級が上がり、「周りの選手がでかいなと感じた」という由井さん。それでもインターハイの京都府予選では、全試合10秒差をつけるテクニカルオール勝ちで優勝。見事にインターハイへの切符をつかみました。

高校に入学してからは、全試合を通して高いパフォーマンスを発揮できるよう、朝練のロー

ドワークなどでスタミナ強化にも励む日々。

「1年生なのでまず力試しでどこまでいけるか。2年生では入賞を狙って、3年生で優勝を」とコーチと3年計画を立てた由井さん。それでも出場する限りは「目標は優勝」と、部訓である『剛毅果敢』の言葉の通り、強い意志で挑みます。

本コーナーでは、市にゆかりのある人物や団体等を紹介していきます。自薦・他薦問わず、紹介希望者を募集していますので、詳しくは、市ホームページをご覧ください。か、秘書広報課へお問合せください。